

## 子どもから大人まで、市内を激走

2月3日 伊豆の国市駅伝大会を開催

各地区の代表や中学生の部活、小学生のスポーツ団体など50チーム400人が出場し、市内20.62kmを激走しました。コースは、大仁市民会館を発着点に、主に狩野川の堤防を走る全8区間です。

大会には、子どもから大人まで幅広い年齢の選手が参加。沿道からの多くの声援を受け、選手たちは一本のたすきを必死につなぎました。同大会は、生涯スポーツの一環として毎年開催しています。



## 福豆をつかんで1年の厄払い

2月3日 広瀬神社節分祭を開催

田京区の広瀬神社で毎年恒例の節分祭が行われ、境内に400人近くの市民が集まりました。来場者は、福豆などを入れる袋をそれぞれの手に持って“参戦”。年男や来賓たちが、「鬼は外、福は内」と叫びながら福豆やお餅などをまくと、大きな歓声をあげながら手を伸ばしていました。

今年は小学校5年生の3人の年男も豆まきに加わり、堂々とした姿で福豆などをまいていました。



## 小さな揺れで防災訓練

2月9日 安全で安心なまちづくり市民大会を開催

防災意識の向上を目的に、安全で安心なまちづくり市民大会を、韮山時代劇場で開催しました。今年は『地域防災力の向上を目指して』をテーマに、2人の有識者による講演を行いました。

防災システム研究所所長の山村武彦氏は、「少しでも揺れを感じたら、どのように動くのかを常に意識することが大事。」と実体験を交えながら講演。浅野幸子氏(早稲田大学客員研究員)は、『災害と女性』について講演を行いました。



## ひとあし早い春の訪れ

2月9日、10日 おおひと梅まつり開催

おおひと梅まつりが、大仁梅林および大仁神社境内で行われました。今年は寒さの影響で例年より開花が遅れていましたが、それでも当日は天候に恵まれ、白梅や紅梅が咲いている姿が見られました。また、会場では神社境内の庁屋での雅楽と神楽、大正琴などの披露や、梅林での梅お散歩ラリーなども行われました。

大仁梅林には約80種類600本の梅の木があり、見ごろは3月上旬までです。



## 食べるだけじゃない、パンの祭典

1月19日・20日 パン祖のパン祭を開催

パン祖のパン祭を、パン祖・江川坦庵ゆかりの土地、韮山時代劇場で開催しました。会場では、パンで作られたオブジェ『スカイツリー』の展示や、パン食い競争などステージイベント、毎年大人気の全国有名パン屋の即売会などが行われました。

全国高校生パンコンテストでは、パン祖のパン大賞に、県立静岡農業高校3年の松永翔子さんの『sesami crisp』(写真中央下)が選ばれました。



## 新春を告げる温泉場の伝統行事

1月21日 まゆ玉の里が開催中

伊豆長岡温泉の新春の風物詩『まゆ玉の里』が、ホテルサンバレー伊豆長岡特設会場で開催しています。初日のこの日は、主催の観光協会やまゆ玉制作者の伊豆長岡温泉まゆ玉の会、芸妓組合や市関係者らがオープニングセレモニーに出席し、開催を祝いました。

会場では展示のほか、まゆ玉の販売やまゆ玉作り体験も実施しています。入場無料、開催は3月10日(日)まで。



## ぬえ 鶴を退治してよい一年を

1月28日 鶴ばらい祭を開催

今年で48回目となる鶴ばらい祭を、湯らっくす公園で開催しました。伝説を再現し、地元中学生が源頼政と鶴に扮する鶴おどりや、弓道家による弓のデモンストレーション、芸者衆による踊りや来賓による餅まきなどで、会場はおおいに盛り上がりました。

また、伊豆の国市商工会が一般公募していた鶴の“ゆるキャラ”の名前の発表とともに着ぐるみが登場し、子どもたちの人気を集めていました。

